

### Ⅲ 研究活動

#### 1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見 孝	ウェルネスに着目したアート&デザインによる地域創生
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
城間 祥之	テキストマイニング分析手法による潜在知識抽出に関する研究
上遠野 敏	現代美術創作研究
酒井 正幸	自然環境を活用した地域創生デザイン研究
安齋 利典	HCDとデザインマネジメントに関する研究 HCDとデザインプロセスに関する研究 観察を中心としたデザインの初期教育の研究
石井 雅博	知覚認知・感性の解明とそのデザイン応用に関する研究
斉藤 雅也	ヒトの想像温度と能動的快適性に関する研究
中原 宏	地域の多様性とコミュニティデザインに関する研究
羽深 久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア（中国・韓国・台湾）における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	ドイツと日本における無子の増加に関する研究（継続） 超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン（継続） 地域社会の人口減少・少子高齢化に対する施策の研究（継続）
町田 佳世子	複数の分析手法を適用した質的データの読解き（2016年度から継続）
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
若林 尚樹	主観的印象評価の研究
柿山 浩一郎	情報プロダクトデザインにおける基本的な設計図作図手法教育の為の説明教材の検討
椎野 亜紀夫	幼児の発達段階に対応した都市公園機能の計画的分散
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張 浦華	高齢化社会に対応した生活道具の提案とユーザ調査
藤木 淳	人間の視覚体験を拡張する表現手法の研究 群ロボットによる環境変化に長期適応可能なディスプレイ表現の基礎研究 数式・アルゴリズムベースで波形データを出力することによるサウンド生成の方法論の研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究
三谷 篤史	口腔ケアシミュレータの改良
山田 信博	公共施設のファシリティマネジメントに関する研究
山田 良	公共空間のデザイン（欧州の事例調査を通じて）
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大島 卓	歴史的農畜産業施設の空間特性及び形成過程の解明
大淵 一博	タブレット型端末を活用した看護OSCE 運営・評価支援システムの運用と検証

教員名	研究課題
片山 めぐみ	社会福祉分野におけるコミュニティデザインの役割
金 秀敬	「情報干渉」に着目した、複数知覚情報の検証と応用方法に関する研究
小宮 加容子	ユニバーサルな参加・蓄積型の遊びにおける遊びのデザインに関する研究
須之内 元洋	環境音データベースを活用した応用研究
福田 大年	身の回りのモノ・コト・ヒトとの相互作用による協創の場づくりを促進させるための手技法の構築に関する基礎的研究
松永 康佑	全天球全天周映像コンテンツに関する研究
金子 晋也	住宅建築における空間のポテンシャルに関する研究
矢久保 空遥	「柔らかさ」をもたらす刺激の定量化

**看護学部**

教員名	研究課題
樋之津 淳子	針刺し切創の要因分析と針刺し事故防止教育プログラムの開発
松浦 和代	西モンゴル地域における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価
宮崎 みち子	性暴力被害女性の健康保護と関連法の動向
中村 恵子	大学院における高度実践看護に関する研究（継続）
猪股 千代子	自然治癒力を惹起させる時空間・コミュニティの設計に関する研究
小田 和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究（継続）
川村 三希子	がん疼痛を体験している高齢がん患者の取り組みと影響要因
菊地 ひろみ	在宅看護分野における新人看護師教育体制づくりの試み 難病法施行後の在宅難病療養者の生活実態
喜多 歳子	貧困世帯で生活する乳幼児の発達成長に与える影響とその媒介要因に関する文献研究
定廣 和香子	実習安全に向けたFDプログラムの開発
上村 浩太	死に至った小児がん患者・家族への死後ケアの実態
大野 夏代	マッサージなど触れることにより患者の力を引き出す看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動な人材育成に関する研究
貝谷 敏子	介護保険施設における褥瘡管理の実態とケアの質調査
神島 滋子	現任教育に関与する教員の活動による効果 リハビリテーション看護に関連した研究についての文献検討
菅原 美樹	クリティカルケア看護専門看護師の直接ケアコンピテンシーに関する研究
藤井 瑞恵	コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の実施・効果検証
古都 昌子	看護学生および看護職のキャリア発達支援に関連した研究 看護学生の実習環境の改善に向けた検討に関連した研究
本田 光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発 I型糖尿病患者の暮らしとセルフケアを支える地域支援 母子保健領域における地域アセスメントガイドの開発 子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する質的研究
村松 真澄	地域包括ケアの中で先駆的に実施されている質のよい高齢者・障害者、認知症の人の支援に関する基礎調査

教員名	研究課題
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
渡邊 由加利	周産期にある夫婦のwell-beingの実態と支援
伊東 健太郎	精神看護学シミュレーション教育の効果と質の向上
工藤 京子	呼吸器疾患患者のネット環境状態と新しい患者交流への取組み
小坂 美智代	がん免疫療法における看護実践の実態と課題
櫻井 繭子	産業保健活動の連携システム構築に関する研究
田中 広美	看護師のセルフモニタリングに関する研究
原井 美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発
高橋 奈美	ALS患者の病気の発症と進行が家族の生活にもたらす影響
檜山 明子	転倒予防に向けた看護実践に関する研究
三上 智子	北海道における新生児集中ケア認定看護師の地域ネットワーク活動に関する調査
森川 由紀	生殖補助医療によって出産した女性の育児への適応を促す要因と適応を困難にしている要因を明らかにすること
矢野 祐美子	中小規模病院の看護管理者のネットワーク
山内 まゆみ	助産師の継続教育に役立つ教育プログラムの開発
山本 真由美	混合病棟における周産期の安全と質保証を担保するための看護人員配置に関する研究
石引 かずみ	わが国の正常出産におけるマタニティケアシステムの違いによる経済効率の比較－助産師主導の院内助産と医師主導の医療施設に焦点をあてて－
柏倉 大作	術後回復強化プロトコルを活用した看護ケアガイドラインの構築 動画を活用した自己学習支援型の注射のシミュレーション教育に関する研究
近藤 圭子	高齢者のadvanced care planningに関する研究
田仲 里江	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する研究
御厩 美登里	訪問看護業務中の交通事故の実態に関する調査 在宅死を可能にする在宅ケア基盤づくりの方略
大友 舞	新人看護教員の自己教育力向上へ向けた研究
渋谷 友紀	看護師養成所における研究の教育の現状と教育に対する認識
高橋 葉子	NICUに勤務する看護職の看護技術について
鬼塚 美玲	「病院で働く看護職員の心の健康セルフケア研修」の効果 特別養護老人ホームにおける介護職員のリーダー教育の効果
出水 美菜子	精神看護学シミュレーション教育を受けた看護学生の感情変化について
中田 亜由美	札幌市南区における高齢者の外出困難要因の明確化
星 幸江	精神科病院長期入院患者の地域移行・地域定着支援に向けた看護師の連携のあり方

## 2 学内公募研究課題一覧

### 学術奨励研究

教員名	研究課題
椎野 亜紀夫	幼児利用に適合する「アドホック型」都市公園再整備手法の開発
藤木 淳	新規的立体質感創成のための高速回転鏡モジュールの開発
大島 卓	近代化産業遺産としての評価・保全に向けた歴史的農畜産業施設の地域特性および空間特性の解明
定廣 和香子	空間的療養効果を重視したArt in Hospitalモデルの構築
檜山 明子	活動性と安全性を保つ転倒予防看護の構築 - 介護施設における転倒リスク行動アセスメントツールの使用と評価 -

### 共同研究

教員名	研究課題
◎斉藤 雅也、樋之津 淳子 中村 恵子、石田 勝也 檜山 明子	患者・スタッフのウェルネス向上のための療養・診療施設的环境とヒトの感覚・適応行動に関する調査研究
◎張 浦華、小宮 加容子	お弁当文化の向上、新しい食事スタイルの提案ー配食サービスのための食器の提案ー
◎三谷 篤史、村松 真澄	食事介護トレーニング用シミュレーションモデルの開発
◎山田 信博、中田 亜由美	高齢化地域における地域福祉拠点整備に関する研究
◎山田 良	北方圏寒冷地におけるパビリオン（東屋）デザインに関する基礎的研究ーフィンランド・ラップランド大学と札幌市立大学との国際交流学生間ワークショップを通じてー
◎松永 康佑、村松 真澄	摂食・嚥下支援における手技動作の教育用映像コンテンツ制作に関する研究
◎古都 昌子、樋之津 淳子 中村 恵子、藤井 瑞恵 森川 由紀、矢野 祐美子	大学と地方の病院をつなぐ遠隔授業による中堅看護師研修の企画・実施と効果検証ー看護コンソーシアム構築に向けたモデルトライアルー

### 田村ICT基金

教員名	研究課題
◎松浦 和代、安齋 利典 三上 智子、矢久保 空遙	モンゴル国におけるICT活用による保護者向け自己学習教材「先天性股関節脱臼の予防ケア」の制作とその評価ー言語の壁を越えて使用可能な健康教材の開発ー

### 採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
7	5	10	7	2	1	19	13



### 3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
定廣 和香子	学生による医療事故防止に向けた実習安全FD展開モデルの開発	基盤研究（C）	1,040,000
菊地 ひろみ	多発性硬化症患者に対する認知行動療法の導入およびアウトカム評価	基盤研究（C）	804,374
石田 勝也	地域の精密な環境情報を使用したデータビジュアライズの公共空間への応用	基盤研究（C）	1,170,000
田中 広美	看護職者の職務遂行困難状況に対するレジリエンス向上支援の研究	基盤研究（C）	390,000
原 俊彦	北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応・地域人口分析システムの構築	基盤研究（C）	650,000
三上 智子	小児看護OSCEにおける課題のピアレビューとネットワークの構築	基盤研究（C）	1,040,000
檜山 明子	患者の活動を妨げない転倒予防看護－転倒リスク行動アセスメントツールの有用性検証－	若手研究（B）	650,000
柏倉 大作	術後回復強化プロトコルを活用した看護ケアガイドラインの構築	若手研究（B）	650,000
本田 光	乳幼児を持つ母親の地域との関係性構築支援のための尺度開発	若手研究（B）	1,300,000
田仲 里江	市町村保健師との協働によるタブレット型保健指導教材システムのプロトタイプ開発	若手研究（B）	1,170,000
藤木 淳	非現実的な実写映像生成のための方法論の研究	若手研究（A）	1,820,000
金 秀敬	知覚情報間「干渉構造」に着目した「マルチモーダル評価モデル」提案に関する実証研究	研究活動 スタート支援	1,430,000
城間 祥之	テキストマイニング分析手法による「地域創生デザイン」志向潜在知識抽出に関する研究	基盤研究（C）	1,170,000
町田 佳世子	専門家による知の伝達－双方向的な解説手法の確立と検証	基盤研究（C）	1,170,000
椎野 亜紀夫	三世代調査による時系列自然遊び・自然資源GISデータベース構築と環境教材の開発	基盤研究（C）	650,000
矢部 和夫	農地からの養分・塩類負荷がボックのミズゴケ類の生育に及ぼす影響の解析	基盤研究（C）	1,690,000
山本 真由美	看護実績能力を向上させるための教材開発と評価－装着型産褥子宮モデル	基盤研究（C）	520,000
貝谷 敏子	介護保険施設における効率性の高い褥瘡管理体制の構築と評価	基盤研究（C）	910,000
菅原 美樹	クリティカルケア看護における専門看護師の直接的ケアコンピテンシーと到達度	基盤研究（C）	390,000
松浦 和代	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価	基盤研究（C）	1,950,000
金子 晋也	寒冷地の住宅建築の活用実態と変容過程に関する研究	若手研究（B）	1,430,000
村松 真澄	高齢者の口腔看護データベースシステムの開発に関する基礎研究	基盤研究（B）	8,450,000





研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
松永 康佑	顔の三次元データ活用のための顔認識手法の研究	基盤研究 (C)	2,730,000
福田 大年	協創促進手法「クルクルスケッチ」のプロセスのデジタル化とその応用に関する研究	基盤研究 (C)	1,820,000
若林 尚樹	体験の共有のための図的表現による視覚的対話手法の開発	基盤研究 (C)	1,430,000
原井 美佳	後期高齢者の女性の尿失禁リスク要因解明と対処行動促進に関する研究	基盤研究 (C)	780,000
古都 昌子	看護学実習環境を標準化するための基準作成と検証	基盤研究 (C)	1,170,000
工藤 京子	北海道の中高層住宅で暮らす避難行動要支援者の安全な在宅避難生活システムの確立	基盤研究 (C)	1,430,000
小坂 美智代	経口抗がん薬治療を受ける外来患者のセルフマネジメントを支える外来看護モデルの検討	基盤研究 (C)	910,000
川村 三希子	認知症を伴う高齢がん患者の疼痛マネジメント教育プログラム・看護師用の開発	基盤研究 (C)	2,080,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンスの概念化と看護支援	基盤研究 (C)	520,000
喜多 歳子	子どもの貧困対策における保健師活動の体系化に関する質的研究	基盤研究 (C)	780,000
藪谷 祐介	団地における移住者のコミュニティ形成を目的としたセルフリノベーションの有効性	若手研究 (B)	2,470,000
中田 亜由美	傾聴、聞き書きによる高齢者相互の健康支援基盤構築に関するアクションリサーチ	若手研究 (B)	1,820,000

※課題番号順

### 科学研究費助成事業基盤研究A (科研A)

研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
蓮見 孝	「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究	基盤研究 (A)	18,460,000

#### ①概要

周辺過疎市町村の自律的な活性化を促し、同時に大学における教育効果を高めるためには、どのような課題を解決し、どのようなプロセスを経るべきかを解明することを目的に、平成29年度は来道外国人旅行者の中心である台湾の学生と日本の学生による国際ワークショップを洞爺湖地区で開催し、新たな体験型観光プログラムの検討を行った。

具体的には【サイトシーイング型】【ツーリズム型】【アートプロジェクト型】と定義した観光客向け「ツーリズム」提案をテーマとした総参加学生数54名（札幌18名、東京10名、台湾26名）の「WS (Workshop) 型学び」を実施し「教育プログラム」および「観光の型」の比較を行った。結果、「教育」という大学が有する固有の機能を活用することにより、たとえ既存の観光プログラムであっても魅力的な滞在型の観光プログラムへ発展しうる。観光プログラムの内容については、サイトシーイング型は、チャレンジ性の高い観光を期待する観光客には適切ではない。ツーリズム型は新しい発見を期待する観光客には適切でない、等との知見を得た。

また、各型の参加意識の変化抽出を目的とした調査手法の検討/実施、エゴグラムによる教育プログラム毎の学生への影響分析手法の検討/実施、スマホアンケートによる参加学生の心理状態の変動把握手法の検討/実施、カメラ付きGPSロガーによる対象物/場所/心理を紐付けた観光地評価手法の検討/実施を行った。



なお、初年度より追加した「フィールドワーク型学び」も継続して実施し、過疎市町村の継続的ビジネスモデルの先進事例調査を、地域住民を参加者として実施した。具体的には、1. 地域資源を活用した体験型プログラム、2. 過疎市町村における持続的ビジネスモデル、を視察し地域の自律を促す知見を得ることを目指した。

②実施体制  
 研究代表者：蓮見 孝  
 研究分担者：細谷 多聞、城間 祥之、酒井 正幸、原 俊彦、柿山浩一郎、斉藤 雅也、山田 良、片山めぐみ、金 秀敬、矢久保空遥、上田 裕文  
 研究補助員：南部 麻子、姉帯美保子

③研究組織  
 統括、教育体系、地域貢献体系、基礎研究体系、事務局

④主な事業実績

年月日	事業実績
平成29年4月25日	ACP地域創生研究セミナー 『野生児全員集合！「洞爺湖地域をキャンパスとした体験型環境教育」のお話』（加藤康大氏 NPO法人いきものいんく代表） @サテライトキャンパス（参加者：11名）
平成29年9月18日～23日	ACP国際ワークショップ @洞爺湖周辺地域（参加者（学生）：54名（札幌18名、東京10名、台湾26名）
平成29年12月16日	ACP研究プロジェクト成果報告会 「日本×台湾 学生デザインワークショップから地域創生を考える（その1）」 @道の駅「そうべつ情報館i」（参加者：39名）
平成30年3月2日～5日	フィールドワーク型学び実施「地域創生の先進事例調査」 @高知県（参加者：9名）
平成30年3月20日	ACP研究プロジェクト成果報告会 「日本×台湾 学生デザインワークショップから地域創生を考える（その2）」 @アスティ45（参加者：22名）

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
松浦 和代	北海道産針葉樹材を活用した新規木質部材開発	㈱ハルキ	500,000
酒井 正幸	動物園の森ビオトープの総合デザイン研究	札幌市（環境局）	500,000
矢部 和夫	キウシト湿原植生調査研究	登別市	200,000
斉藤 雅也	外断熱建築の熱性能評価と住まい手行動の研究	㈱アーブ建築研究所	350,000
	飼育動物とその生息環境の特徴をひき出す展示デザイン研究 －北方圏ゾーンのランドデザインと園内施設のサインデザインの監修－	札幌市（環境局）	750,000
三谷 篤史	防水性・防汚性コーティングを活用したクッションの製品化に向けた検討	フィールド・クラブ㈱	439,934
吉田 和夫	ユニバーサルデザイン視点からの円山動物園におけるアプローチデザイン研究～地下鉄円山公園駅からの誘導サインデザイン・正門前広場デザイン～	札幌市（環境局）	750,000

片山 めぐみ	安平町における住民参加による観光まちづくり	(株)道新サービスセンター	570,000
金子 晋也	地域資源を活用した都市空間におけるストリートファニチャーの研究と計画—西2丁目地下歩道の賑わいを目的としたストリートファニチャー	札幌市（建設局）	993,600

**共同研究費**

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
安齋 利典	非開示	三菱電機(株)	非開示
山田 信博	非開示	共和コンクリート工業(株)	非開示

**4 寄附金の受入状況**

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
矢部 和夫	平成29年度 美々川自然再生に関する調査研究「ウトナイ湖北西岸における湿生草原の再生手法検討」に対する研究助成	(株)ドーコン	800,000
KANAえる基金	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	JA北海道厚生連札幌厚生病院	210,000
KANAえる基金	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	(公財)北海道勤労者医療協会	100,000
KANAえる基金	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	宮崎 みち子	500,000

**5 その他研究助成**

教員名	寄附目的	寄附元	金額（円）
古都 昌子	基礎看護学実習における物理的環境の指標設定、効果的な教育環境の調整に向けて	東京女子医科大学看護学会研究助成	100,000
原井 美佳	北海道の過疎地診療所におけるプライマリ・ケアの課題についての質的研究	(公財)在宅医療助成勇美記念財団	815,000



## 6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成29年5月18日 ～26日	石井 雅博	アメリカ合衆国	第17回Vision Sciences Society大会参加
平成29年5月26日 ～6月1日	宮崎 みち子	スペイン	2017国際看護師協会4年毎大会出席、発表
平成29年6月6日 ～11日	張 浦華	中国	中国・武漢理工大学芸術設計学院訪問、“現代アジアデザイン教育新理念国際学術フォーラム”出席・招待講演
平成29年6月18日 ～24日	宮崎 みち子	カナダ	第30回国際助産師協会3年毎大会参加、発表
平成29年7月2日 ～9日	三谷 篤史	ドイツ	国際会議AIM2017への参加・発表
平成29年7月8日 ～15日	宮崎 みち子	アゼルバイジャン	第23回世界医事法学会参加、発表
平成29年7月12日 ～16日	金 秀敬	シンガポール	国際会議Design Engineering and Product Innovation参加
平成29年7月13日 ～18日	松井 美穂	イタリア	Carson McCullers in the World: A Centenary Conference参加
平成29年7月27日 ～8月2日	定廣 和香子	アイルランド	Sigma Theta Tau International 28th International Congless 研究発表
平成29年7月30日 ～8月5日	松浦 和代	モンゴル	第4回専門技術研修「モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク児への育児指導をその評価」の西モンゴル地域ホブト県での開催、打ち合わせ
平成29年8月9日 ～9月3日	山田 良	フランス、香港	ル・コルビュジエの建築群、およびロマネスク建築群現地調査
平成29年8月12日 ～18日	片山 めぐみ	インド	ニルマルヒルダイ（療養施設）及びチタガール（ハンセン氏病施設）における取り組みと建築の視察、調査
平成29年9月3日 ～9日	原井 美佳	デンマーク	デンマークの社会福祉・ペタゴキック研修、保育統合施設・認知症グループホーム・地域看護クリニック視察
平成29年9月4日 ～10日	三谷 篤史	ノルウェー	国際会議（EPDE2017）参加・発表
平成29年9月4日 ～8日	村松 真澄	デンマーク	認知症ケア視察
平成29年9月5日 ～10日	檜山 明子	イタリア	6th World Congress of Clinical Safety 参加
平成29年9月6日 ～14日	斉藤 雅也	ベトナム	科研費による海外調査研究用務（ベトナムの居住環境調査）
平成29年9月9日 ～15日	金子 晋也	オーストラリア	ストリートファニチャーの事例調査
平成29年9月16日 ～23日	神島 滋子	クロアチア	12th Quadrennial Congress of the World Federation of Neuroscience Nurses（WFNN）参加
平成29年9月19日 ～24日	近藤 圭子	南アフリカ共和国	2017 国際地域看護学会参加、発表
平成29年9月19日 ～24日	本田 光	南アフリカ共和国	国際地域看護学会（ICCHNR 2017）において研究成果発表
平成29年9月19日 ～24日	田仲 里江	南アフリカ共和国	7th INTERNATIONAL CONFERENCE COMMUNITY HEALTH（ICCHNR）



期間	教員名	目的国	目的
平成29年10月14日 ～22日	金 秀敬	カナダ	国際会議 World Design Summit参加
平成29年10月20日 ～23日	村松 真澄	タイ	TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017
平成29年10月28日 ～11月4日	安齋 利典	アメリカ合衆国	IASDR2017参加
平成29年11月6日～ 13日	須之内 元洋	エクアドル	国際会議22nd World Orchid Conferenceでのポスター発表、聴講およびナーセリーEcuagenera見学会参加
平成29年11月25日 ～30日	山田 良	ベトナム	ホイアン市 旧市街地 建築計画・町並み保存・アートプロジェクト調査
平成29年11月26日 ～12月1日	藤木 淳	タイ	国際学会ACM Siggraph ASIAにおける成果発表
平成30年1月10日～ 12日	石引 かずみ	韓国	21st East Asian Forum of Nursing Scholars & 11th International Nursing Conferences 参加
平成30年1月10日～ 12日	大友 舞	韓国	第21回東アジア看護学研究者フォーラム、第11回国際看護会議にてポスター発表
平成30年1月10日～ 13日	田中 広美	韓国	第21回 EAFONS 発表
平成30年1月10日～ 13日	山内 まゆみ	韓国	第21回東アジア看護フォーラム及び第11回国際看護学会での成果発表
平成30年1月10日～ 13日	渡邊 由加利	韓国	第21回東アジア看護学研究者フォーラム及び第11回国際看護学会 発表
平成30年2月4日～ 11日	須之内 元洋	デンマーク	アートコミュニティ・公共空間デザイン・美術展の視察、調査
平成30年2月23日～ 28日	山田 良	ノルウェー	建築デザインに関するワークショップ
平成30年3月19日～ 22日	金 秀敬	マレーシア	国際学会KEER参加
平成30年3月24日～ 30日	藤井 瑞恵	イギリス	先進的口腔ケアの視察
平成30年3月24日～ 30日	三谷 篤史	イギリス	食事介護や口腔ケアに関する調査
平成30年3月24日～ 30日	村松 真澄	イギリス	口腔ケアシステムについての視察
平成30年3月27日～ 31日	山田 良	フィンランド	研究打ち合わせ、およびパビリオン（東屋）事例調査と空間デザイン作品視察